

さいたま食育推進ネットワーク交流会質疑応答（平成 22 年 1 月 19 日）

Q S食育ネットのご活動に色々な立場の方が参加していただいているという事ですが、特に、田中先生に質問させていただきたいのですけれども、連携するという良さもありますが、やはり色々な関心ある方を引きつけておくという事はなかなか難しいのではないかと思います。そういうコツというか心がけていらっしゃるということについてお話していただければと思います。

A 西村さんにもあとでお聞きしたいのですが、参加者に参加して良かったなと思って帰っていただくにはどうしたら良いかなと事があると思います。あとは、それぞれ参加した人たちみんなが主役になれるにはどうしたらいいかなというのを考えています。その時に参加してくれた方々がそれぞれの特徴を出して、お互いがウインウインの関係になれると言いますが、そういう関係が作れた時に活動としては継続できるのかなと思います。これは口で言うのは易しいのですが、なかなか現実的には難しいかなと思いますがどうでしょうか。

A 自分の所属している団体への愛が出てくれば、その団体のいろいろな行事にも参加しますし、そこの中で頑張っていると思うので、そのためには交流かなと思っていてるんです。折角ボランティアでやっている訳ですし、心の交流がなくてただ仕事の為だけにやっているみたいなイメージになってしまうと絶対続かないと思いますので、私としては友達になる様な感覚が必要かなと思っております。

A あともう1つこのネットで工夫している事で特徴的かなと思う事は、このネットが坂戸保健所から始まり、現在、事務局が女子栄養大学になっていますが、ネットの事務局から発信をする通知文書やご案内、それから行政ルートで発信した方が出てくれやすい組織団体があるので、それは坂戸保健所の担当課長と相談して、ここには保健所の方から文書を出してね、こっちはネットの文書を出すからというように、出し方を分けています。

Q 幼稚園でこういう活動をして本当に素晴らしいことだと思いますが、小学校、中学校と成長段階の中で取り組みがしきれてないのではと思っています。幼稚園、保育園にもっと広めていくことが大事なのではないでしょうか。

A まず、小学生のつながりなんですけれども、私も考えていたことで、幼稚園でやっても小学校に上がっていくと給食の時間も20分もないという現状もあります。どうしたら良いのかなというのもあるのですけれど、今は、食育課外教室で小学生クラスもありまして、今年は11人、小学校1年生から、去年は小学校4年までの子がいたのですけれど、授業との兼ね合いとかでやめていく子も増えて行くのですが、少しでも小学生の中でやりたい子が続けていけるような雰囲気を作っています。あとは今、畑のボランティアみたいなものを募集してまして、そこに保護者が来て、子供たちも土日に来て

一緒にみんなで作業をして、お昼ご飯をみんなで幼稚園の屋上で食べようよみたいな、すごいフリーランスなボランティアみたいながあるので、そういう形でちょっとずつなぎ止めながら小学校の方にアプローチできるように、行政が変わるか、僕がもっと頑張るかなんですけれど、本当に難しいなと思っているのですが、今のところそういう形です。

あと、世間の要望との不一致みたいなものだと思うんですけれど、幼稚園とか保育園というのは逆に欲しがっているわけですよ。僕は東京農業大学の出なんで農業の知識はあるのですが、そういう人間が幼稚園業界にはほとんどいないんですね。すごいニッチな部分なので本当はみんな求めているんだけど、特に私立の幼稚園っていうのは閉鎖的なので、色んなつて探してもらえればたぶん幼稚園側と保育園側はすごく欲しがっていると思います。

Q 保健所の方でネットワーク作りみたいなのをしましょうみたいな空気があったというお話をされましたが、私たちが一生懸命指導研究しても全然保健所から情報が来ないし、言ったら言っぱなしみたいなのが長く続きました。こういう事を埼玉県内の他の保健所もやっていたという確認はされていますか。

A 確認はしていませんが、埼玉県内の保健所で2003年に食育連絡会議を設置するという通知が県庁から来ました。その会議の運営方法は保健所ごとで違うと思うので、たまたま私が所属していた保健所は、福祉事務所と保健所が一緒の組織だったので会議がものすごく多くありました。それで、連絡会議の話をしましたらこれ以上会議を増やすのかって所長から言われました。じゃあ、皆さんがどういうニーズ持っているのかを調べてからもう一度検討しようという話になって、先ほど申し上げた200カ所ぐらいにアンケート調査をしました。その結果、希望が多かったので、そのデータをもって所長に話しましたらOKが出ました。それぞれの保健所の地域や組織内の状況によって、どういう会議の持ち方するか、ネットワーク作るかは、たぶん違うだろうと思います。

Q 今のさゆり幼稚園の入園理由の現状を教えてくださいなのですが、食育をしたいと言って来る方が多いのか、とりあえず近いから来る方が多いのかっていうことと、あと周りでも同じような活動をしている幼稚園とか小学校とかがあるのかという事を教えてください。

A まず、入園の理由なんですけど、来年度の園児も決まりまして、募集理由を良く見たんですけど1割です。

他の所との連携は、どうしても私立の幼稚園、特に地域内での幼稚園の連携っていうのはタブー視されているんですね。子供が少ない世の中ですし、あまりにも連携し過ぎると、難しい部分が出てきてしまうので、またそういう意味でも小学校との連携もまた難しいですよ。私立の幼稚園だけがやっているのか、そこだけなのかって言われちゃうとちょっと難しいので、僕の考えとしてはS食育ネットがどうにか学校に入っていくようなシステムが作ればいいな、なんてことは考えてはいます。

Q かなり土地が広くて品目も多いのですが、通常は園児さんとか小学生の方々だけではとても管理が出来ないと思うので、圃場の確保をどういう風にされたのかという事と、通常の畑の管理をどういった方がやられているのかを教えてください。

A まず圃場は地主さんのご厚意で、借りています。作業は、私がやっています。一人です。本当に僕も好きなので機械を使っていないんですよ。私が好きなんで出来ているっていうのも確かにあるんだと思うんですけど、土日が仕事みたいな、畑の仕事みたいな感じでやっています。スタッフを雇ってやるっていうだけのものでもないというか、そういう余裕もないというか、僕は友達呼んでみんなで作ったりとか、そういう形でやっています。本当は地域の人たちで呼んでやるっていうことも考えています。地域の若者とか保護者の方と一緒にそこを耕して、2分の1か3分の1くらい幼稚園であとは地域の方でみんなで作ろうかなって事も考えています。

Q 先ほど先生のワークショップを見てみますと、すごく沢山の方がいらしているんですけども、親御さんたちの生活状況っていうのが、私は和光市ですので、殆どが共働きで働いている。そうすると昼間こういうことをやっても人が集まらないんですね。どうしたらこうやって、今、聞いていない人の耳を傾けさせる事が出来るのかっていうのをすごく思っているんです。その点がお聞きしたいところの1つです。

もう1つは学校給食。9年間の学校給食っていうものが、すごく重要でその中で子供たちがすり込まれていくんだと思うんです。和光市は自校炊飯なので、ひじきの煮たものとか、切り干し大根とか出しているけれど家庭で味わっていないのですね。だから学校給食の中で、日本人がいったい何を食べて生きて行くんだっていうことを子供に教えることが出来るかっていうところがすごく重要だと思っているんですが、その点はどういう風にしていったら良いのか教えていただければと思っています。

A おひさまクラブという保護者のクラブの話なんですけれども、幼稚園ですのでまだ共稼ぎまでいかない人たちが通っているんですね。一応広報を出しまして、来るのが、いる時で20名で、いない時は10名くらいです。230名の園児数ですので、保護者は兄弟関係を抜いても200名くらいです。その中でこれだけ僕も食育をアピールしてやっているんですけど、その程度です。それだけ集まっているっていう形かも知れないんですけど、そういう現状ですね。うちはあと、給食センターか若しくはお弁当か選べるんですけど、給食センターは週1回だけありまして、やっぱりそれはまさに先ほど言っただけで、給食センターのものはなかなか作らない煮物とかが良く出てくるんですね。子供たちは最初は絶対残すんですけど、段々段々食べられるようになっていく。慣れていく。本当に毎日すり込みされて行くような感じで今やっています。保護者にも、給食センターの給食の事を伝えてもらおうと思って、そのおひさまクラブっていうのに来ていただいて話してもらったりするんですけど、その中で保護者の方にも本当はお弁当をちゃんと作ってほしいって言いたいんです。そこは保護者の方の子育てが、共稼ぎだったり核家族っていうのは、うちもいまちょうど2歳の長男と今0歳の娘

がいるんですけど、2人でやってるとものすごい大変で、早く食べるよっていうちょっとジレンマがあってどうしようもないんですけど、まず保護者に食育っていうものが楽しんだよってことを思い出させる事が、今、本当に忙しくて外食なんて絶対出来ない子供がいるっていう保護者の方がいる中で、少しでもそういう事を思い出してもらうところからスタートしないといけないと思います。保護者にいきなりこんな状況だから駄目なんですよ、駄目なんですよ、もっとちゃんとやらせてくださいって言っちゃうと保護者ももっとたぶん駄目になっちゃうと思うんですよ。なので少しでも保護者に楽しんでもらう様などから、まず何かやるんだったら、スタートしていきなさいいけないのかなってというのがちょっと若い世代の言い分でございます。すみません。

A ちょっと話がずれるかも知れないのですが、うちの大学いくつかの研究室と、坂戸市内の小学校13校全部に、食育担当の先生を設置してもらい、13校同時に食育プログラムを2年前から始めています。年間8時間の食育プログラムを、家庭科と道徳、保健の授業を使って5年生に提供しています。プログラム導入前後に調査をして、1年後に教育効果がどのくらい残っているかどうかを再調査します。今年度は、中学生も同じようにやり始めています。8時間教育をした事目に見えた成果はあまり出ていませんが、他校の同学年と比較しますと、その子たちよりは悪くなり方がなだらか、時代とともに子供の食事って段々悪くなっている状況にあります。その悪くなり方が内端だというのが、食育プログラムをやった子供たちには見えました。年間でたかが8時間なので、働きかける限度というものはある、むしろ先ほどおっしゃっていた学校給食は毎日食べるので、その中で働きかける効果があるのではと学内の先生方と話し合っています。残菜も団地が多い様な地域の小学校が、1年生に子供たちが入ると、ひじきの煮物の中に、黒い虫が入っていて気持ち悪いという子どもたちが当時いました。その学校の栄養士さんたちは諦めずに、残しても残しても出す。そうすると、学年が上がるにつれて残り具合が少なくなるっておっしゃっていました。もう一つは、学校の栄養士さんから聞いた話ですが、味噌汁のだしをとる時に、昔は鰹や煮干しを使いましたがそれでとると子供たちが残し、複合調味料のだしの方がよく飲むとのことでした。やはり、家庭の調理にどのようなやり方をしたのが学校の残菜にまで影響してくると嘆いていました。

Q 学校によって内容はもちろんですけども、給食の内容等本当にみなさん工夫してらっしゃって色々な違いが見られてくるんですけども、S食育ネットの方で、学校栄養士さんとどういう風なつながりを持っていらっしゃるのかをお聞かせ願えればと思います。

A ネットとしては、特にネットワークを組んでいるという事はないのですが、食育ネットワークで今年、年2回、「食事バランスガイド」を中心にした講演会と、事例検討、グループワークを行った時には学校栄養士の連絡会が県内にありまして、この団体にお声を掛けた事と、県内の保育所給食の連絡会にお声を掛け、参加していただいています。

Q 幼稚園って言っても230人も園児さんがいる大きな幼稚園で、そこに西村さんが入っ

て、食育に関する活動が相当幅広く、園児の時間の中でもかなりの時間をつかって活動されているっていう事になるわけですけども、それには西村さんのご活躍もあるにせよ、園長先生以下のご理解をどんな風に得たのかですね、やはりこれだけの大きな幼稚園で大きな組織だと思うので、この組織をどういう風に動かし得たのかっていうところについて、どういう経緯があったのかなっていう事をひとつ伺いたいのと、学校教育の場合は非常に難しいのは、指導要領でかなりがちり決められていて、田中先生のお話でも食育は年間8時間ですよと決まれば、それがひとつの目安になって自由になる時間というのはそんなにないんだと思うんですね。今、文部科学省の方でも指導要領の改訂で食育教諭を置くとか始まっていて、だいぶ食育に熱心になりかけている。小学校の校長先生方に色々とお話する機会があったりするんですが、今、言ったようになっていきます。幼稚園、保育園だとそこは全く園独自で何でも出来ちゃうのかどうか。そうだとするとかなり働き掛け方によっては燎原の火のようにだーっとこの活動っていうのは広がり得るのかなと、そこらへんちょっと教えて頂ければと思います。

A 私がまず幼稚園で働く経緯ですけど、親が理事長と園長をやっている状態で、当時は海外青年協力隊に参加して、そのままずっと海外協力の道に働きたいという思いがあって、学生の時ははっきり言って全然考えていなく、親としてもうちは男3人の僕は真ん中な感じで、まだ下がいるんで、こいつでいいよっていう話になりまして、まとまっていたんですが、自分も考えて、どうしたら自分のやりたい事が出来るのか、本当に申し訳ない話なんですけど、だったらうちがあるじゃないかと、その当時うちは今もそうですけれども食育をやっているのは私だけなんですよね。園長、理事長としてはやっぱり今まで通りのやり方でやっているっていう状況なので、私が始めて1年目の時は時間はほとんどなかったですね。やっていく中でアピールして、ホームページも随時アップして、徐々に色々な人たちとの関わりが生まれて、色々な人たちを呼ぶ様になって、色々な賞をいただいた事もあったりして、私だけじゃなく幼稚園の中の雰囲気として徐々にやっとなじみ出てきたのが4年目って感じなんですよね。なので先生たちにまで作業をおろそうと思っているんですが、小学校の先生もそうなんだと思うんですけど、自分の仕事がいっぱいある訳ですよ。プラスアルファでやらされるのみたいな感じの言い方になります。だから気軽にこう一緒に作業をしようよとか誘えないんですよ。その中で本当に興味のある先生がいて、たまにおやつを作っているときとか味見させて、みたいな感じで出てくるので。本当にもう少し時間が掛かるかなと思います。無理して強制的にやってしまったら、それこそ先生たちにとってはよろしくない事になってしまうので、もう少し我慢かなと思っています。あとは、カリキュラムですね。小学校はすごいきっちり決まっている訳ですよ。でも幼稚園ってすごい曖昧なんです。豊かとか、本当に教育的用語満載で、全然範疇が決められていないんですよ。なので他の幼稚園さんでは栄養素の事をヒーローみたいに、黄色いヒーローアブラマンみたいな感じでやっていたり、あと業者が持ってくる食育教材をやっている事が食育なのよって言う幼稚園さんとかですね、千差万別でして、なので私としてはちゃんと本来食育って言うのは農にあって農がベースなんだよっていうことをやっているのが自分の自負ですし、今、保護者とか幼稚園の先生とかには説明している状況です。